

（概要）

- ・宮崎県では、平成27年度から標記事業に取り組み、これまでに地域の居場所など23箇所の整備を支援した。
- ・事業概要は別添のとおり。

（実施主体：例）

トロンパレット（川南町）

実施主体：川南町社会福祉協議会

世代間交流福祉館かしのみ（木城町）

実施主体：木城町社会福祉協議会 …写真添付

（取組内容等）

- ・子育て中の母親等を対象に「おやつ食堂」を開き、読み聞かせやプリン作りの体験メニューの提供等により、町の賑わいにも繋がった事例など、これまでに23箇所の居場所等を整備している。
 - ・人材やネットワークなどの地域資源を活用して、福祉課題の解決に取り組む地域共生社会づくりが求められる中、活動拠点の整備も重要な課題であり、市町村やNPOなどから、県の支援に関する問い合わせも少なくないことから、地域のニーズは高いと感じている。
 - ・居場所づくりは、見守りの充実など地域福祉の向上を図る上で重要な取組であるが、運営について十分に検討するプロセスが必要であり、特に運営ノウハウの蓄積、人材の育成など、ソフト面での支援も必要である。
- 本県では、地域住民を対象とした居場所づくりの研修会も連動させながら、行政のみならず、地域住民の居場所づくりに対する理解促進、機運の醸成にも努めている。